

優秀演題賞受賞者一覧

第32回日本消化器癌発生学会総会/第10回国際消化器癌発生会議 の優秀演題が下記31演題に決定いたしました。

主題 7名

シンポジウム 1 "Innovation in Clinical Technology and Basic Science"

- S1-1：神田 光郎 先生（名古屋大学大学院 消化器外科学）
「NPTXRを標的とした新規胃癌分子標的治療薬の開発」
- S1-5：小山 誠 先生（信州大学大学院 外科学講座 消化器・移植・小児外科学分野）
「KRAS遺伝子変異型癌に対する新規治療法MEK阻害剤 + BCL-XL阻害剤併用療法の開発」

シンポジウム 2 "Molecular Carcinogenesis and Precision Medicine"

- S2-3：近藤 享史 先生（北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室Ⅰ）
「肝芽腫CHIC分類とDNAメチル化解析の統合による新規リスク分類」
- S2-4：平下 禎二郎 先生（大分大学 消化器・小児外科）
「mTOR1の活性化は膵管内乳頭粘液性腫瘍の糖代謝と癌化に関わる」

シンポジウム 3 "Immuno-Oncology Update"

- S3-1：杜 婉瑩 先生（東京大学 大学院医学系研究科 消化管外科）
「マウスモデルにおける胃癌腹膜播種の免疫チェックポイント阻害剤治療」
- S3-4：佐々木 槇子 先生（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）
「光線力学的療法による免疫原性細胞死誘導メカニズムの解明と癌免疫療法への応用」

シンポジウム 4 "Basic Science and Translational Research"

- S4-3：金田 篤志 先生（千葉大学大学院 医学研究院 分子腫瘍学）
「Epstein-Barrウイルス胃癌におけるLMP2AおよびSTAT3リン酸化を介した転写因子EHFおよびWntシグナルの活性化」

一般演題 10名

口演 1「基礎研究1」

- O1-5：齊藤 亮 先生（山梨大学 医学部 外科学講座第1教室）
「出血と炎症は膵癌の進展を促進する」
- O1-6：寺奥 大貴 先生（徳島大学 消化器・移植外科学）
「肝細胞癌におけるNrf2-PINK-1 axis を介したLenvatinib耐性機序の検討」

口演 2「基礎研究2」

- O2-2：臼井 源紀 先生（東京大学大学院医学系研究科 病因病理学専攻 人体病理学・病理診断学）
「無症候検診コホートを対象とした胃発癌リスク因子の探索と胃粘膜に蓄積したDNAメチル化の解析」
- O2-6：山田 眞一郎 先生（徳島大学 消化器・移植外科）
「ソラフェニブ耐性肝細胞癌の腫瘍微小環境形成におけるBAFF/BAFF受容体の役割」

口演 3「基礎研究3」

- O3-2：古市 ゆみ 先生（国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野）
「遺伝子Cがメチル化された食道扁平上皮癌は遺伝子D阻害と合成致死性を示す」
- O3-3：西口 遼平 先生（東京女子医科大学東医療センター外科）
「マウスにおける高フルクトース食誘発性大腸炎と炎症性腫瘍形成を予防するための食事介入」

口演 4「基礎研究4」

- O4-1：今村 裕 先生（公益財団法人がん研究会 がん研有明病院 消化器外科）
「TP53免疫染色のAIを活用した遺伝子変異パターン診断」

口演 5「基礎研究5」

- O5-2：堂本 貴寛 先生（金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御）
「GSK3βは膵がんの難治性腫瘍形質を連関する」

口演 6「基礎研究6」

- O6-1：徳丸 剛久 先生（岐阜大学大学院 消化器外科（旧腫瘍外科））
「胃癌患者においてmiR-29a発現の低下は予後不良の予測因子である」
- O6-3：松村 和季 先生（熊本大学大学院 消化器外科学）
「膵癌細胞におけるThrombospondin-1発現の影響」

ポスター演題 14名

ポスター 1「食道・胃1」

- P1-2：古賀 直道 先生（九州大学大学院 消化器・総合外科）

「食道扁平上皮癌における免疫チェックポイント分子signal-regulatory protein alpha (SIRP α)発現の臨床的意義」

- P1-6：ディリラバ ボリドン 先生（金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍制御）

「GSK3b阻害による食道扁平上皮がんの治療効果とメカニズム」

ポスター 2「食道・胃2」

- P2-5：清水 将来 先生（神戸大学 大学院医学研究科 病理学）

「癌間質および癌細胞で発現するMT2Aは食道扁平上皮癌の進展に関与する」

- P2-10：山本 淳史 先生（山梨大学 外科学講座第一教室）

「胃癌転移リンパ節における腫瘍径の意義」

ポスター 3「胃・大腸」

- P3-4：中村 俊介 先生（名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学）

「胃癌における化学療法抵抗性遺伝子*CSRNP3*の機能解析と治療効果予測バイオマーカーとしての意義」

ポスター 4「大腸」

- P4-3：柴崎 雄太 先生（群馬大学大学院総合外科学講座）

「術後補助療法を施行した大腸癌におけるL-type amino acid transporter1 (LAT1)発現と治療成績の検討」

- P4-4：芝本 純 先生（京都府立医科大学 消化器外科）

「大腸癌の微小転移におけるmicroRNAの役割」

ポスター 5「肝・胆道・膵」

- P5-2：高橋 純一 先生（九州大学病院別府病院 外科）

「DNA修復関連遺伝子FANCEは肝細胞癌の予後予測バイオマーカー及び有望な治療標的となりうる」

- P5-10：谷合 智彦 先生（東京慈恵会医科大学外科学講座 肝胆膵外科）

「膵臓癌に対するセラミド代謝制御による抗腫瘍効果の分子生物学的機序の解明」

ポスター 6「その他」

- P6-1：北村 文優 先生（熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学講座）

「膵がん腫瘍微小環境における代謝リモデリング機構の解明」

ポスター 7「症例報告1」

- P7-3：菊池 寛利 先生（浜松医科大学外科学第二講座）

「野生型GISTの臨床像と治療戦略」

- P7-5：立田 協太 先生（浜松医科大学外科学第二講座）

「遺残直腸の有無からみる家族性大腸腺腫症長期サーベイランス結果」

ポスター 8「症例報告2」

- P8-2：原田 仁 先生（神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野）

「当科におけるStageIV胃癌に対するconversion surgeryの治療成績」

- P8-9：野中 健一 先生（総合大雄会病院外科）

「虫垂に浸潤し、虫垂の領域リンパ節転移を認めた直腸S状部癌の一例」

以上です。

選考委員となっただきました座長の先生方に御礼申し上げます。

受賞者には後日表彰状と副賞をお送りいたします。